業務委託仕様書（案）

1 業務概要

(1) 業務名

奄美・屋久島観光共創事業（研修会等開催事業）業務委託

(2) 目的

本県は、屋久島及び奄美大島・徳之島（以下「両地域」という。）の2つの世界自然遺産を持つ唯一の県であり、このことは、国内のみならず、海外からの観光誘客においても大きなセールスポイントとなる。

両地域の受入体制の強化を図るためには、地域の自然・文化の価値の保全と次世代への継承、自然環境の保全など、重要な役割を担うガイドの更なる資質向上が求められる。

本事業では、講演やワークショップ等を通じ、両地域が連携してガイドの資質向上を図る。

(3) 内容

① 両地域のガイド等を対象にした研修会（以下「研修会」という。）

ア 両地域の課題に関連する講演

イ 課題に関連する実践形式のワークショップ

② 令和6年度及び7年度の奄美・屋久島観光共創事業（以下「観光共創事業」という。）の成果等の発表及び今後の両地域の連携等に係る意見交換（以下「成果発表・意見交換会」という。）

ア 観光共創事業の成果・課題の発表

イ 意見交換

※ 本事業は、大島支庁と連携して実施しており、同支庁の実施事業（両地域のガイドを対象としたエクスカージョン）も踏まえて、上記②を実施することとなる。

(4) スケジュール

令和7年6月～令和7年7月上旬 研修会

令和7年7月～令和8年1月 エクスカージョン（大島支庁実施（本委託業務の対象外））

エクスカージョン実施後概ね2か月以内 成果発表・意見交換会

(5) 履行期限

令和8年3月19日（木）まで

2 業務内容

(1) 研修会の企画・運営

<研修会の目的>

両地域の課題に関連する講演や、課題に関連する実践形式のワークショップを通じて、世界自然遺産地域のガイドの更なる資質向上を図る。

① 研修会の開催日、内容、実施方法等の決定

ア 開催日

- ・ 令和7年6月1日から7月上旬頃までの間で1日を設定すること。
なお、開催日については、委託者と協議して決定すること。

イ 内容

- ・ 研修会当日のプログラム構成
午前（2時間程度） 講演（質疑応答を含む）
午後（3時間程度） ワークショップ
- ・ 対象者
講演（質疑応答を含む）：両地域のガイド及び行政関係者等
ワークショップ：屋久島のガイド及び行政関係者等
- ・ 取り扱うテーマ
 - ・ 講演とワークショップで共通のものとする。
 - ・ 両地域のガイドが抱える課題，意見を踏まえて設定した下記1）～3）のテーマの中から選定すること。

※ テーマ

- 1) 海外からの観光客の受入体制に関すること
- 2) 世界自然遺産地域のガイドとして求められる人材の育成や，若手ガイドへのノウハウの継承に関すること
- 3) 環境保全と観光を両立した取組みに関すること

(参考) 両地域のガイドが抱える課題・意見

【海外からの観光客の受入体制に関すること】

- ・ 海外からの観光客を受け入れているガイドが少ない。
- ・ 海外からの観光客の国民性や興味・関心等を理解したガイディングに苦慮している。

【世界自然遺産地域のガイドとして求められる人材の育成や，若手ガイドへのノウハウの継承に関すること】

- ・ 世界自然遺産地域のガイドとしてふさわしいガイドでありたい。更なるレベルアップに努めたい。
- ・ 世界自然遺産地域のガイドとしてふさわしい人材の育成について意見交換したい。また，他地域の先進的な取組みを知りたい。
- ・ 若手ガイドが少なく，ガイド同士の交流も少ない。
- ・ 若手ガイドへのノウハウの継承ができていない。
- ・ ガイドとしての自分の評価が分からない。

【環境保全と観光を両立した取組みに関すること】

- ・ 環境保全の面でも観光の面でも，他地域を牽引する存在でありたい。
- ・ 環境保全活動を誘客に結びつけられる取組みについて考えたい。

- ・ 講演の内容
 - ・ 選定したテーマに沿った内容とすること。また，課題解決のヒントになると考えられる他地域の事例紹介を含めること。
- ・ ワークショップの内容
 - ・ 講演で学んだことを屋久島地域で実践する場合の取組や課題，その対応策等について意見交換を行うこと。

ウ 実施方法・実施体制

- ・ 屋久島町内の会場で実施すること。ただし、講演についてはオンライン参加を可とすること。
- ・ 講演やワークショップを運営するために必要なスタッフを配置すること。なお、オンライン参加者への対応も考慮し、進行サポートメンバーを配置するなど円滑な運営のために工夫すること。
- ・ ワークショップにおいては、円滑な運営と活発な議論を促すため、ファシリテーター1名を配置するほか、実施方法も工夫すること。

エ 会場の確保

- ・ 屋久島町内の会場を確保すること。なお、参加上限人数は、講演は50名程度(椅子のみ準備)、ワークショップは30名程度(机、椅子を準備)とする。

② 講師及びファシリテーターの選定、手配、連絡調整

- ・ 講演とワークショップで取り扱うテーマ・内容に適した講師1名を選定すること。
- ・ ワークショップのファシリテーター1名を選定すること。なお、ファシリテーターは、講師との兼任でも可とする。
- ・ 講師及びファシリテーターの宿泊及び交通手段の手配を行うこと。

③ 事業実施スケジュールの作成及び進行管理を行うこと。

④ 参加者の募集・広報（募集チラシの作成、広報活動等）

- ・ 参加者の募集を行うこと（参加者募集チラシの作成を含む）。
- ・ 参加を促すための広報を行うこと。

⑤ 参加者等の受付及びその個人情報の管理を行うこと。

⑥ 参加者への通知・連絡を行うこと。

⑦ 資料の作成

- ・ 研修会のプログラム、運営マニュアル（タイムスケジュール、スタッフ配置表等）、当日配布資料、アンケート、参加者名簿等を作成すること。

⑧ 会の運営

以下を行うこと。

- ・ 時間管理
- ・ 司会者、運営スタッフ等の配置
- ・ 参加者の誘導及び場内整理
- ・ 会場の設営（横断幕、垂れ幕、立て看板の作成・設置含む）及び撤去
- ・ オンライン開催に必要な業務 等

⑨ 研修会の参加者へのアンケートの実施、回収及び集計を行うこと。

⑩ 研修会の議事録を作成すること。

⑪ その他必要な業務を行うこと。

(2) 成果発表・意見交換会の企画・運営

＜成果発表・意見交換会の目的＞

令和6年度及び7年度の観光共創事業で得た成果や課題を共有し、両地域のガイドの資質向上を図る。

① 成果発表・意見交換会の開催日、内容、実施方法等の決定

ア 開催日

- ・ 開催日は、大島支庁が実施予定のエクスカーション実施後概ね2か月以内の1日を設定すること。
なお、開催日については、委託者と協議して決定すること。

イ 内容

- ・ 成果発表・意見交換会当日のプログラム構成
午前（2時間程度） 観光共創事業の成果・課題発表
午後（3時間程度） 意見交換

・ 対象者

両地域のガイド及び行政関係者等

・ 観光共創事業の成果・課題発表の発表者及び発表内容

発表者	人数	発表内容
屋久島ガイド	1名	・ 令和6年度の意見交換及びエクスカーション、 令和7年度の研修会で感じた成果や課題等
奄美大島ガイド	1名	
徳之島ガイド	1名	

・ 発表内容の事前調整等

- ・ 受託者が発表者と事前調整すること。
- ・ 令和6年度の成果や課題等については、別紙を参照すること。
- ・ 令和7年度の大島支庁の実施事業（両地域のガイドを対象としたエクスカーション）の内容についても情報収集した上で、発表者と協議すること。

・ 意見交換の内容等

- ・ 観光共創事業の成果・課題発表の内容を踏まえたものとする。
- ・ 観光共創事業の成果・課題発表の内容を予め聞き取り、それを踏まえて意見交換の構成や進め方を決めること。

ウ 実施方法・実施体制

- ・ 屋久島町内の会場で実施すること。ただし、オンライン参加を可とすること。
- ・ 観光共創事業の成果・課題の発表及び意見交換を運営するために必要なスタッフを配置すること。
なお、オンライン参加者への対応も考慮し、進行サポートメンバーを配置するなど円滑な運営のために工夫すること。
- ・ 意見交換においては、円滑な運営と活発な議論を促すため、ファシリテーター1名を配置するほか、実施方法も工夫すること。

エ 会場の確保

- ・ 屋久島町内の会場を確保すること。なお、参加上限人数は、50名程度（椅子のみ準備）とする。

- ② 発表者及びファシリテーターの選定, 手配, 発表者との連絡調整
 - ・ 奄美大島のガイド4名, 徳之島のガイド2名を屋久島に招聘すること。
 - ・ 招聘した奄美大島及び徳之島のガイドのうち各1名と, 屋久島のガイド1名の計3名を観光共創事業の成果・課題発表の発表者として選定すること。
なお, 被招聘者及び発表者の選定に当たっては, 委託者, 屋久島観光協会ガイド部会, 奄美大島エコツアーガイド連絡協議会, 徳之島エコツアーガイド連絡協議会と協議して決定すること。
 - ・ 意見交換のファシリテーター1名を選定すること。
 - ・ 招聘する奄美大島のガイド4名, 徳之島のガイド2名及びファシリテーター1名については, 宿泊と交通手段の手配を行うこと。
 - ③ 事業実施スケジュールの作成及び進行管理を行うこと。
 - ④ 参加者の募集・広報 (募集チラシの作成, 広報活動等)
 - ・ 参加者の募集を行うこと (参加者募集チラシの作成を含む)。
 - ・ 参加を促すための広報を行うこと。
 - ⑤ 参加者等の受付及びその個人情報の管理を行うこと。
 - ⑥ 参加者への通知・連絡を行うこと。
 - ⑦ 資料作成
 - ・ 成果発表・意見交換会のプログラム, 運営マニュアル (タイムスケジュール, スタッフ配置表等), 当日配布資料, アンケート, 参加者名簿等を作成すること。
 - ⑧ 会の運営
以下を行うこと。
 - ・ 時間管理
 - ・ 司会者, 運営スタッフ等の配置
 - ・ 参加者の誘導及び場内整理
 - ・ 会場の設営 (横断幕, 垂れ幕, 立て看板の作成・設置含む) 及び撤去
 - ・ オンライン開催に必要な業務 等
 - ⑨ 成果発表・意見交換会の参加者へのアンケートの実施, 回収及び集計を行うこと。
 - ⑩ 成果発表・意見交換会の議事録を作成すること。
 - ⑪ その他必要な業務を行うこと。
- (3) 事業報告書の作成
- ・ 研修会及び成果発表・意見交換会の内容, アンケート結果等について報告書としてまとめること。

3 業務要件

(1) 業務計画書

契約締結後速やかに、業務実施の方針、体制、手順（進め方）、工程及び打合せの計画等を記載した業務計画書を作成し、委託者と協議すること。

なお、当該計画書に変更が生じる場合は、その都度、委託者の承認を得ること。

(2) 打合せ

上記着手時のほか、研修会等の企画案作成時や、実施に向けた調整、成果品とりまとめ時等、適宜打合せを行い、また、打合せの議事を作成すること。

なお、打合せについては、Web でも可とするが、研修会と成果発表・意見交換会の本番前に少なくとも各1回は屋久島で委託者と打合せを行うこと。

4 成果品

受託者は、業務内容を取りまとめた報告書を履行期限までに提出すること。

なお、成果品については、電子媒体（CD-R 等）に格納し提出すること。

(1) 事業報告書等（電子データ）

研修会及び成果発表・意見交換会の内容、アンケート結果等についてまとめた事業報告書（A4版、カラー）、アンケート結果など本業務で作成した資料一式

(2) その他（電子データ）

報告書内に記載された画像、表、グラフ等のデータ

5 著作権等の取扱い

(1) 成果物の所有権、著作権の一部(※)、利用権は原則、委託者に帰属するものとする。

※ ここで示す著作権の一部とは、著作権法（昭和45年法律第48号）第21条（複製権）、第23条（公衆送信権等）、第24条（口述権）、第25条（展示権）、第26条の2（譲渡権）、第26条の3（貸与権）、第27条（翻訳権、翻案権等）、第28条（二次的著作物の利用に関する原作者の権利）に規定する権利とする。

(2) 本業務の成果物は、映像・画像等の著作権・肖像権上の処理を済ませた上で納入すること。ただし、著作権等の紛争が生じた場合は、受託者の責任において対応するものとし、委託者は一切その責任を負わない。

(3) 受託者は、著作権法第18条から第20条に規定する権利（著作者人格権）を行使するときは、委託者の書面による承諾を得なければならない。

(4) 委託者は、成果物の利用（二次利用等）については、鹿児島県公式ホームページへの掲載など委託者が使用するために必要な範囲で、随時利用できるものとする。

6 その他

業務を適切かつ円滑に遂行するため、本仕様書に定める事項について疑義が生じたとき、又は、定めのない事項で業務に必要な事項が生じたときは、委託者・受託者双方が協議して定めるものとする。

令和6年度奄美・屋久島観光共創事業（ガイド交流事業）について

1 目的

2つの世界自然遺産を持つ強みを今後の観光振興に生かすため、両地域のガイドによる意見交換等を通じてガイドの資質向上を図る。

2 参加者

ガイド（奄美大島、徳之島、屋久島） 18名（うち意見交換会のみ参加2名）
 鹿児島県（屋久島事務所、大島支庁） 5名
 オブザーバー（環境省屋久島自然保護官事務所他） 8名

3 実施期間、主な行程

令和6年12月10日（火）～12月12日（木）

12月10日 意見交換①（於：屋久島環境文化村センター）

「奄美大島・徳之島・屋久島におけるガイドの実態」

12月11日 エクスカーション（於：西部林道、荒川登山口等）

西部林道や荒川登山口等におけるガイド付き視察の実施

12月12日 意見交換②（於：屋久島環境文化村センター）

テーマ1：「人材育成・後継者育成」

テーマ2：「今後の奄美大島・徳之島・屋久島との連携」

4 成果と課題

事業を通じて得られた成果と期待される効果、課題、寄せられた主な意見については、下表のとおり。

項目	内容
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・エクスカーションでは、地域ごとに自然（動物や植物）を見る視点が異なることや、参加者への解説、見せ方等において新たな気づきを得た。 ・両地域が連携してガイドの更なる資質向上に取り組む機運の醸成を図ることができた。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・各ガイドの世界自然遺産の価値や環境保全に関する知識が深まり、観光客への説明や対応の質の向上につながる。このことは、環境保全等に係る観光客の意識変容・行動変容につながる。 ・両地域の環境保全の取組みや観光資源を共有することで、両地域の環境保全の取組みが強化され、今後の両地域の観光資源の持続的利用につながる。 ・ガイド同士の意見交換や連携が進み、ネットワークが強化されることで、両地域の協力体制の構築につながる。

<p>課題 ・ 意見</p>	<p>【海外からの観光客の受入体制に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外からの観光客を受け入れているガイドが少ない。 ・海外からの観光客の国民性や興味・関心等を理解したガイディングに苦慮している。 <p>【世界自然遺産地域のガイドとして求められる人材の育成や、若手ガイドへのノウハウの継承に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界自然遺産地域のガイドとしてふさわしいガイドでありたい。更なるレベルアップに努めたい。 ・世界自然遺産地域のガイドとしてふさわしい人材の育成について意見交換したい。また、他地域の先進的な取り組みを知りたい。 ・若手ガイドが少なく、ガイド同士の交流も少ない。 ・若手ガイドへのノウハウの継承ができていない。 ・ガイドとしての自分の評価が分からない。 <p>【環境保全と観光を両立した取り組みに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全の面でも観光の面でも、他地域を牽引する存在でありたい。 ・環境保全活動を誘客に結びつけられる取り組みについて考えたい。
------------------------	---